

「ペテロの手紙第一」について

1. 著者：使徒ペテロ
2. 宛先：小アジア（現在のトルコ半島）に散在しているすべてのクリスチャンへ
回覧状（地図参照）
3. 執筆事情と目的：晩年をローマで過ごしたペテロが、異教社会の中で迫害に遭っているクリスチャンを励まし、その只中で清く生きるように勧めるために筆を執った。（5:13の「バビロン」とは、ローマの比喩的呼称と思われる）
4. 執筆年代：ローマ大火(AD64年)以降迫害が顕在化し、ペテロは67年頃殉教したと言われている。執筆はその期間(64-67年)であろう。
5. 主題：キリストの成し遂げた大いなる救い、特に聖化を齎す救いを提示すること；試練や迫害は信仰者にとって障害とならず、却って恵みの機会であることを強調すること
6. 鍵の聖句：2:9「あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。」

アウトライン

挨拶 1：1 - 2

大いなる救い 1：3 - 2：10

- ・クリスチャンの喜び 1:3-12
- ・クリスチャンの聖化 1:13-25
- ・聖化における成長 2:1-10

聖なる生活 2：11 - 5：11

- ・異教社会の中で清くあれ 2:11-12
- ・異教国家において：為政者に従え 2:13-17
- ・労使関係で：主人に従え 2:18-25
- ・夫婦関係で：
 - ・妻は夫に従え 3:1-6
 - ・夫は妻を尊敬せよ 3:7
- ・謙遜と愛に生きよ 3:8-12
- ・義のための苦しみ：
 - ・苦しみを甘受せよ 3:13-17
 - ・キリストの模範 3:18-22
 - ・苦しみを決断せよ 4:1-6
- ・終末を意識して行動せよ 4:7-11
- ・試練を喜びとせよ 4:12-19
- ・教会内の関係：
 - ・長老たちへ 5:1-4
 - ・若者たちへ 5:5a
 - ・互いに 5:5b-7
- ・悪魔と戦え 5:8-11

終りの挨拶 5：12 - 14

地図

